

2008 年度冬学期 教育臨床心理学(担当:前田)期末試験問題

受験上の注意

1. 教科書、授業中の配布資料、ノート、携帯電話、電子辞書の持込みは一切不可とする。
2. 試験時間は90分である。
3. 解答する順は問題順でなくてもかまわないが、どの問題の解答かわかるように、解答する際には問題の番号を明記すること。
4. 解答用紙の追加は認められない、与えられた用紙の範囲内で解答すること。

【問題1】精神分析理論では、子どもの道徳性はどのように発展すると説明するか。精神分析理論の発達論の観点から論述せよ。

【問題2】(1)摂食障害の歴史的・社会的背景について、19世紀以降の資本主義社会の発展と関連させて論述せよ。(2)それを踏まえて、摂食障害患者のやせようとする心理について、認知行動療法の観点から説明せよ。

【問題3】学校で毎日、「ウザい」などことばによるいじめを受けた高校生が、(1)高血圧、(2)持病の糖尿病の悪化、(3)不眠、(4)胃潰瘍、(5)かぜをひきやすいといった、多彩な身体症状が現れた。このことをHPA系の反応と交感神経の反応から説明せよ。

【問題4】幼児期の虐待がその後に及ぼす影響として、(1)境界性人格障害、(2)アダルトチルドレンのそれぞれについて説明せよ。

【問題5】人は自尊感情を高めようとして(低下するのを防ごうとして)、無自覚的・無意識的に「あの手この手」を使っている。この「あの手この手」の心理について次の各問いに答えよ。

[問1] 栄光浴についてバランス理論を用いて説明せよ。

[問2] 内集団的態度について社会的アイデンティティ理論を用いて説明せよ。